

むらの話題

地域的话题を
お待ちしております
■総務課・広報係
☎029-885-0340 (内) 205



祝長寿！健やか最高齢者認定

村社会福祉協議会実施事業「村内健やか最高齢者」に鈴木ちかさんが認定され、10月4日に鈴木さん宅を村長と社会福祉協議会事務局長が訪れ、表彰状とお祝いの品を贈りました。



今回2回目の認定となる鈴木さんはなんと101歳。何をするのが好きかを伺うと、ピアノを弾くのが大好きで流行の歌や炭坑節、東京音頭といった曲をよく弾いているそう。また、耳に残っている曲なら弾けるそう。また、テレビで時代劇や歌番組、クイズ番組を見るのも好きですが、時間があると数字を使ったパズルゲームである「ナンブシ」をやっているそうです。
好きな食べ物については、焼いもやおしんこ、梅干しなどが好きで、肉や魚などを少しずつ、バランスよく食べているとのことでした。
最後に健康の秘訣を伺うと、何もなくいつもどおりが一番と語ってくれました。
鈴木さん、これからも健やかに過ごしてくださいね。

俚謡コンテスト結果

10月13日開催する予定だった第22回陸平縄文ムラまつりは、台風の影響により残念ながら中止となってしまいましたが、まつり当日表彰式を行う予定だった俚謡コンテストは事前に作品を募集し、正調俚謡「日和吟社」による審査で、村内外から80を超える応募の中から入賞作品が決定しました。入賞者の皆さんおめでとございます。

- ◎陸平賞 竹下加奈子さん
美浦はおいしや イチジク・イチゴ
米にレンコン 梅・キノコ
- ◎小学生の部 松本礼苑さん
村の祭りが 終わった空に
夕日かがやく おかだい
- ◎中学生の部 中村治樹さん
海の向こうに 伝えていくよ
皆で築いた この日本

埼玉県富士見市と縄文交流



9月7日、埼玉県富士見市で開催された「水子貝塚まつり」に、陸平をヨイショする会が招かれ、縄文時代の交流を再現しました。

水子貝塚公園内の特設舞台上、はるばる訪れた「陸平ムラ」の人々を、「水子ムラ」のムラオサ（富士見市長）が歓迎するという設定で、大勢集まった富士見市民の前で和やかな交流が繰り広げられました。

8市町村で自治体クラウド協定締結



10月3日、土浦市役所において、土浦市、石岡市、稲敷市、行方市、阿見町、河内町、利根町の7市町村が「基幹業務システム等の共同利用及び運用に関する協定」の締結式を行いました。この協定を締結したことにより、令和2年4月から住民記録や税務、国民健康保険といった住民サービスに関する業務を処理するシステムやそのデータを、外部のデータセンターで8市町村による共同利用を行います。

【自治体クラウドとは】

複数の市区町村が情報システムを外部のデータセンターに共同で保有・管理し、利用できるようにする取組です。これにより、経費の削減、住民サービスおよびセキュリティの向上が期待できます。

令和元年度 美浦村敬老会



沖縄漫談(つえずだー！)



江戸太神楽(仙若)



歌謡ショー(美里美)



敬老作文表彰



スタッフのみなさん



シルバーリハビリ体操

9月15日、村と社会福祉協議会の共催により、高齢者の方の長寿を祝う「美浦村敬老会」が中央公民館で開催されました。今年敬老会に招待された75歳以上の敬老者は、昨年より36名増えて2269名となり、このうち264名の方が式典に出席されました。

式典の部では、中島村長、来賓の方々から長寿をお祝いする言葉を贈り、美浦村老人クラブ連合会の萩田正義会長が謝辞を述べました。休憩時間では、シルバーリハビリ体操指導士会の指導のもと座席でできる簡単なストレッチを行って体をほぐし、みなさんお楽しみのアトラクションの部へ。

まず、敬老作文を安中小学校2年生中澤花梨さん、大谷小学校4年生山口夏逢さん、木原小学校6年生栗山琴音さんが朗読。その心温まる内容に、たくさん拍手が送られました。続いて、会場全体が笑顔となった沖縄漫談、目を離せないほどの名人芸を披露した江戸太神楽、美しい歌声で魅了した歌謡ショー、最後には会場の全員でふるさとの合唱と、盛りだくさんの内容でした。

敬老者の皆さん、楽しんでいただけでしょうか。来年もまた元気な姿でお会いしましょう。

第53回 スプリンターズステークス タワーオブロンズ号

9月29日、中山競馬場(1200m・芝コース)で行われた第53回スプリンターズステークスにおいて、美浦トレーニング・センター藤沢和雄厩舎所属のタワーオブロンズ号が優勝、G I初制覇を果たすとともにスプリント界の頂点へと躍り出ました。

序盤、中盤はライバルたちを見守るかのように後方に位置しレースを進める。最終コーナーを回りラストパートをかけると粘るライバルたちを一気にかわし先頭でゴール。見事優勝しました。

担当の青野泰允調教助手は、「とてもんびりで、手がかからない馬ですが、いざ調教やレースになるとスイッチが入ります。走るべき時や場所がわかっているんだと思います。ラジオでレースを聞いていましたが、最終コーナーを回るまで名前も呼ばれなかったので心配でしたが、呼ばれてからは心の中で『かわせ!』と叫んでいました。先頭でゴールした瞬間は率直に嬉しかったです。今後も競走馬としての人生を怪我なく全うして欲しいです。」と語ってくれました。タワーオブロンズ号の今後のますますの活躍が期待されますね。



藤沢 和雄 調教師



青野 泰允 調教助手